

東山浄苑東本願寺発！パパママこどものフリーペーパー



だっこだっこあみだっこ



- ・ぼく・わたしをそだてる ほとけのことは「本願—本当の願って何だろう?—」
- ・菜園日記
- ・浄苑にあつまれ！

親子仏法の集い 毎月開催中

7・8月号



ぼく・わたしをそだてる

ほとけのことはば

本願 (ほんがん)

— 本当の願って何だろう？ —

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことはば」から、わたしたちの日々のくらの目標をかながえてみましょう。

●「本願」とは？

「本願」とは、「本来の願い」「本当の願い」という意味あい、特に仏教では、菩薩(ぼんざつ) (仏さまになるために修行中の方) が必ず成しとげようと願い定められた誓いのことをいいます。

●本当の願い？

願いごとと言えば、「勉強ができるようになりますように」「病気が治りますように」「商売がうまくいきますように」などと、神さまや仏さまにお願いごとをするイメージを持つ人が多いのではないのでしょうか。

しかし真宗は、神仏にお願いごとをしてかなえてもらおう、という教えではありません。願いというのは、私たちの側ではなく、仏さまの側にあるからです。

人の心は、うそいつわりが多く、ころころ変わりやすく、「願い」といってもそこにはうらやむ心やしつと心、見栄や欲が必ずひそんでいて、「本当」ということがありません。ですから「本願」というのは「仏さまの願い」なのです。



●お父さんお母さんの思い

「どうして仏さまにお願いごとをしてはいけないの？」と疑問に思うかもしれませんね。ここで、親子の関係を考えてみましょう。

たとえば、子どもはお父さんお母さんに「ゲームを買ってちょうだい」「おやつをもっとちょうだい」とねだりますが、親はそうした願いを聞いてやるのが、本当にその子のためになるかどうかを考えて、ためにならないと思えばかなえてやらないこともあります。それどころか、子どもが欲しがってもいらないようなものをあえて与えることもあります。「かわいい子には旅をさせよ」という言葉もあるように、世の中のつらさや苦しさを経験させたほうが、わが子の将来のためになると考えて、子どもが思いもよらないことや、望まない試練を与えることがあります。

だれでも、こうしたい、ああなりたい、こんなふうになればいいな、と考えるでしょう。しかし思いどおりになることが、自分の人生にとって本当にいいかどうかは、意外とわからないものです。自分では思ってもみなかったことや、望みもしなかったことが現実となって、それが幸せのきっかけや原因になっていることも多々あるものです。

私たちにそれをそのまま受け入れなさい、というのが真宗の教えなのです。

●四十八の願い

法蔵菩薩(ほふそうぼんざつ) (のちの阿弥陀さま) は、世自在王仏(せじざいおうぶつ) という仏さまの弟子となり、ありとあらゆる浄土(じやうど) を見て、五劫(ごごう) というとうほうもなく長い時間考えに考えを重ね、理想の浄土(じやうど) を作って仏と成り、人々を救おう、と四十八個の誓いを立てられました。これを「四十八願(じゅうはちがん)」といいます。四十八願の中でも、もっとも大切なお誓いが、第十八番目の願いでこれをとくに「本願」といいます。



第十八願は、あらゆる生きとし生ける者が心の底から「救われたい」「極楽にいきたい」と願って念仏するなら、彼ら全員を必ず救う、という誓いです。厳しい修行もできず、仏さまの教えを理解できず、罪を重ね続けるような凡夫(ぼんぷ) であっても、一人残らず必ず救わんとする、最後の手立てとして起こされたものなのです。

●本願 ～私たちのための誓い～

私たちが今日も口にした「なむあみだぶつ」という念仏は、仏さまのお名前を表していますが、ここには「私たちを必ず救う」と誓われたその「本願」が込められています。阿弥陀さまの本願は、「あれが欲しい」「人に好かれない」「お金持ちになりたい」などのたくさんの煩惱をかかえながら、悩み、苦しみ、迷いつづける人々を救いたい、という純粋な願いです。

この「本願」は私たち一人一人にはたらきかけ、その救いの光が届けられている——そのことに気づいて、ひたすら阿弥陀さまをお頼みし、耳をすまして阿弥陀さまの願いをよくよく聞いて、感謝と救われるよろこびの日々を送ることができる。それが私たちの「幸せ」(仕合せ) なのではないのでしょうか。





土にしたしむ 菜園日記

東山浄苑東本願寺には、親子で野菜の種まき・収穫体験ができる（※）菜園があるのを知っていますか？その名も「あみだっこ菜園」です！

（※）毎月第3日曜日に開催している親子向けイベント「親子仏法の集い」。詳しくは裏表紙に！

6月

おみずを
たっぷり



きゅうりの苗
を植えました！



大葉の種を
まきました



みんなで一緒に
ハイポーズ！



小さな四季みいつけた

東山浄苑東本願寺では、^{うらぼんえ}孟蘭盆会（お盆 8/13～8/16）は夜間も開苑し、一万灯以上の^{ちようちん}提灯とろうそくのあかりが苑内を美しく照らし出します。
15日にはお楽しみ・子ども盆灯会も！
ぜひお参り下さい。



いまそだっています！

きょうの菜園

きゅうり
大葉・しょうが
ジャガイモ
さつまいも



親子仏法の集い 毎月開催中！

親子仏法の集いって？

毎月第3日曜日（行事等で変更の場合あり）に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。また、花まつりでは、毎年こども法要をおつとめしています。

なんでもありがたくいただいて、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。お気軽にお尋ねください！

【活動日】 毎月第3日曜日 ※年中行事、花まつり前には変更

【場 所】 東山浄苑東本願寺

【参加費】 1家族 1,000円 ※初参加無料！

◎ベビールーム完備／屋内無料駐車場完備／参加ご家族 30組限定

【お問い合わせ・参加のお申し込み】

東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 075-541-8391 毎日 9:00
～ 17:00



参加者募集中！

7月18日（日）

10:00～12:00

【活動内容】 しそ・とうもろこし・きゅうりの収穫

【場 所】 東山浄苑内 あみだっこ菜園 等

8月15日（土）

15:30～16:30 受付 15時

【活動内容】 こども盆灯会

【場 所】 東山浄苑 常楽堂

【参加費】 中学生以下のお子さま
1人につき100円

当日
参加可

※活動内容は、天候や作物の成長状態などによって、予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
※雨天の場合は、お念珠袋づくりや掛軸づくりなどの室内企画を行います！お楽しみに！



LINE で参加申し込みができます。
詳しくはお尋ね下さい。
LINE ID: oyakobuppou



菜園や活動のようすをアップ中！
フォローして画面を提示するだけで
参加費1割引♪（1家族1回のみ利用可）
アカウント名: amidakko

だっこだっこあみだっこ 令和3年7・8月号

令和3年7月10日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上山山旭山町 8-1 電話 075-541-8391 無料